雲仙までの道のりを、バスに揺られてのんびり巡る。

バス旅車窓マップ

ゆったりと車窓からの景色を味わうのもバス旅ならではの旅の楽しみ方。
古くから観光地として栄えた雲仙・小浜。
そこへ向かう道の途中にもまた、歴史と文化をはぐくむ街並みや大自然の恵みが広がります。
バスに揺られて、車窓を流れる景色を眺めながら、贅沢な旅の時間を堪能してみてはいかがでしょう。

長崎県立西陵高等学校
放送部の皆さんが、沿線の風景を
車内アナウンスでお届けします。



旧 温泉鉄道
(水晶観音駅跡)

唐比

唐比車庫入口

唐比のハス園

愛野のじゃがいも畑

愛野展望所

愛野展望台

千々石展望台

旧 温泉鉄道
(千々石駅跡)

千々石小学校前

橘神社

千々石の棚田

雲仙温泉

雲仙

雲仙お山の情報館

小地獄入口

一本柱鳥居前

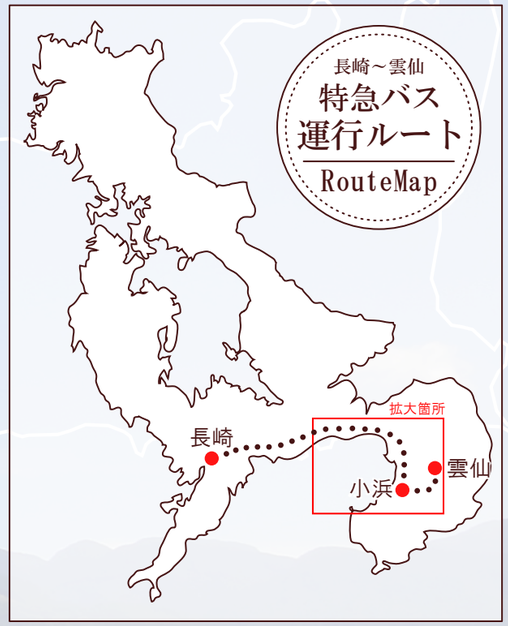
ジャカランダ通り

小浜温泉

小浜ターミナル

ほっとふっと105

山の上



旧 温泉鉄道(水晶観音駅/千々石駅跡)





温泉軽便鉄道は、大正12年、愛野～千々石間で運行を開始し、昭和2年には、小浜地方鉄道、島原鉄道と接続し、諫早～小浜間の直通運転が行われるようになりました。
昭和13年にはその役目を終えましたが、今でも、山肌を走る蒸気機関車の風景が思い起こされます。

唐比のハス園





初夏になると、約2ヘクタールの広大な敷地に、13種類のハスとスイレンが花を咲かせます。
この土地の独特な粘土質の土壌で育つレンコンは、真っ白い肌と納豆のように糸を引く特徴があり、ホクホクの食感が人気です。
出荷量が少なく、「幻の唐比レンコン」とも呼ばれています。

愛野町のじゃがいも畑





長崎県のジャガイモの生産高は全国第2位。
江戸時代、ジャカルタからオランダ船によって長崎に伝来したことから、「ジャカルタイモ」と呼ばれていました。温暖で日照時間が長いこの地域は栽培に最適で、一面にじゃがいも畑が広がります。

愛野展望台





雲仙市の入口、国道57号線沿いにある展望スポット。
標高約100m、橘湾を望む高台に位置し、眼下には波穏やかな橘湾、東に雲仙連山、北に多良岳、遠く天草諸島まで望むことができる絶好のビュースポットです。

千々石展望台





千々石断層の真上に立つのがこの展望所。
総延長は約14km、最大落差は約450mにも達し、現在でも年間約1．5mmずつ沈降している活断層です。
展望台の売店では、じゃがいもを丸ごと蒸して秘伝の衣で包んで揚げた、千々石名物「じゃがちゃん」をいただけます。

千々石の棚田





日本棚田百選にも選定された石積みの棚田。
田植えの時期には緑が一面に広がり、趣のある見事な石積みとのコントラストに美しさが際立ちます。雲仙岳からの栄養分たっぷりの湧水で育つ米は、「幻の米」とも称されるほどの美味しさ。

橘神社





昭和12年に創建された橘神社。春には約千本の桜並木が連なり、年末にはギネスブックにも認定された、天にも届きそうな巨大門松がお目見えします。
大鳥居のそばには彫刻家・北村西望による軍神・橘中佐の銅像が出迎えます。

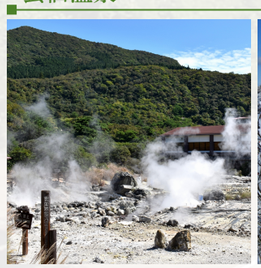
小浜温泉





橘湾に臨む風光明媚な温泉地。
高温で湯量の豊富な温泉として昔から多くの人に親しまれています。
長さ105mの日本一長い足湯「ほっとふっと105」は、年間約20万人が訪れる人気のスポット。

雲仙温泉





昭和9年、日本で最初に国立公園に指定された雲仙。妙見岳の南西標高700mに位置し、明治には外国人の避暑地として発展しました。
白い湯けむりが漂う「雲仙地獄」は雲仙温泉を代表する名所。冬の山肌には、神秘的な美しさに包まれる霧氷を見ることもできます。

【時刻・運賃はコチラ】



◆長崎－小浜・雲仙

特急バス
予約不要